

# 常任委員会の審査など

## 総務委員会

### 核兵器禁止条約に 参加を求める陳情 区民の願いに背を向ける



儀武議員



自民、公明、都民ファ・国民

第3回定例会・総務委員会で、「核兵器禁止条約に署名・批准する意見書を国に求める陳情」が審査されました。

儀武議員は、核兵器禁止条約の発効に至るまでには、広島、長崎の被爆者の当事者が、被爆の実相を広げ、「核兵器の廃絶」を国内外に訴え、草の根から世論と運動を広げた地道な努力があったことを指摘。今こそ、日本政府が、核兵器禁止条約に参加して、核廃絶の国際世論をリードする役割を果たすことを強調し、23区で最も早く非核都市宣言を行った豊島区議会で、この陳情を採択すべきと主張しました。

共産党、立憲・れいわ、維新・無所属、無所属元気の会が採択を主張しましたが、自民党、公明党、都民ファーストの会・国民は「核保有国と非保有国との橋渡し」などと言って、継続審査にしてみました。

## 区民厚生委員会

### 生活保護基準額を 引き上げることを 求める陳情



小林議員



森議員

「国は社会福祉の増進に努めよ」と  
採択を主張

第4回定例会の区民厚生委員会(小林ひろみ委員長)で、来年度の生活保護基準額が大幅引き下げが予定されていることについて、物価高騰に見合うよう、国に引き上げを求める意見書を提出してほしいという陳情が審査されました。

森とおる議員は、生活保護利用者の「買って来た弁当を昼と夜で半分ずつ食べている」などの声を紹介し、国が基準額の引き下げを強行してきたことに対し、全国各地の裁判で、生活保護利用者が勝訴している事例を挙げました。これ以上、引き下げると生存権の確保すら危うくなると採択を主張しました。立憲・れいわも採択を主張しましたが、その他の会派は国の動向を見守るなどとして、多数で継続審査にしたため意見書は提出できませんでした。

## 都市整備委員会

### 区民住宅廃止する 条例に反対



かきうち議員



第4回定例会に区民住宅条例を廃止する条例が提出され、都市整備委員会で審査されました。日本共産党、立憲・れいわが反対しましたが、賛成多数で可決されました。

豊島区は、ファミリー世帯向けとして324戸を供給してきた区民住宅「ソシエ」を最後に残っていた南池袋第二を25年3月、オーナーに返還。これで全ての区民住宅がなくなるため、条例を廃止しようというものです。

かきうち議員は、無責任な区への対応について厳しく追及、住宅施策の後退であり条例の廃止は認められないと主張しました。他区が実施している区営住宅や福祉住宅に転用したりすれば残すことができたにもかかわらず、傾斜家賃や高額な家賃となる返還設定としたため、定住化どころか、家賃を払いきれない入居者を追い出す結果になりました。

## 子ども文教委員会

### 区立体育施設の 指定管理について



清水議員

第4回定例会で、豊島区立体育施設の指定管理者の指定について、子ども文教委員会で審査されました。この議案では、総合体育場・西巣鴨体育場・荒川野球場は区内事業者が継続して指定管理者となりますが、池袋スポーツセンター、豊島体育館の2施設は、これまでの区内事業者から大手業者に変更となります。清水議員は、指定管理では大手業者でないと引き受けられない状況になってきていること、事業者が変わるときに内容や雇用が引き継がれないことがあるなどの問題点をしつつ、継続する事業者もあることから、議案には賛成しました。



## 区政のこと、くらしのこと、ご相談は日本共産党区議団へ



かきうち 信行



清水 みちこ



小林 ひろみ



森 とおる



儀武 さとる

ご意見、ご要望をお寄せください。日本共産党豊島区議団 控室 TEL 3981-1429 FAX 3590-4650

ご意見フォーム▶

